

# 御田八幡神社 社報

## 謹賀開歳

目に見えぬ神に向かいて恥ぢるは  
 人の心のまことなりけり 明治天皇

目には見えない神様に対して恥じることの無い心境こそ、人としてうそ偽りの無い「誠の心」である。

※平生の言動を慎しみ穏やかに日々の生活を過ごし、心清らかに胸を張って神様にお参り致しますよう。

### ◇新年のご参拝のご案内◇

◎元日午前零時より

・ご参拝の皆様全員、社頭で御神酒をお召し上がり頂きます。  
 ・先着三百名様に、一合瓶の御神酒をお持ち帰り頂きます。

◎昇殿参拝午前八時〜午後四時半まで

・元日より三日までは事前のお申込みは不要です。ご都合の宜しい時にご参拝下さい。

四日以降は、お電話で事前のお申込みをお願い致します。

・企業等の団体様は、いつでも必ず事前のお申込みをお願い致します。  
 四・五日は十五分間隔で、六日以降は原則三十分間隔で執り行います。  
 その他詳細はお問合せ下さい。

◎初穂料の目安

個人の方の参拝：五千円以上  
 団体の方の参拝：一万円以上

◎授与品

御神札(祈願者名又は団体名入り)  
 お守り(参拝者全員)・絵馬・破魔矢  
 その他記念品各種

【昇殿参拝(しょうでんさんぱい)とは】

社殿内に入り、神職のお被い・祝詞奏上を受けて、玉串を捧げてご参拝頂く事です。参拝作法等は神職が説明致しますので、難しいことはありません。安心してお参り下さい。混雑具合によりますが、所要時間は二十分程度です。(四・五日は十分程度)年の初めに相応しい厳かなひと時と共に、御田八幡の大神様のご神徳を間近にお受け下さい。



☆厄除け・星祭(ほしまつり)のご案内☆  
 【厄除け星祭祈禱】  
 大難も小難に禍転じて福となる。当社厄除祈禱は古くより伝わり、江戸時代「中にも名高きは三田八幡の厄除祈禱」と東都歳時記にも記されております。下記の生れ年の方は新年にご祈禱をお受け頂き、平安な一年をお送り下さい。

#### ◇大厄◇

♂男性  
 昭和三十一年生れ(六十一歳)  
 昭和五十年生れ(四十二歳)  
 平成四十年生れ(二十五歳)

♀女性  
 昭和五十五年生れ(三十七歳)  
 昭和五十九年生れ(三十三歳)  
 平成十年生れ(十九歳)

※大厄の前年に生れた方が後厄、後年に生れた方が前厄です。年齢は数え年です。  
 「星祭とは？」  
 九星占星術に基づき、新年の運勢が弱い方をお祓いするのが星祭祈禱です。一般に言われる大厄の年齢も、この星祭りに該当する生れ年の中に含まれています。

#### 厄除け・星祭祈禱申込書

参拝日時	月	日	時	分	参拝せずに御神札のみ希望
ご住所					
祈願者芳名					男・女
	大正	昭和	平成	年生れ	歳(数え歳)
祈願者芳名					男・女
	大正	昭和	平成	年生れ	歳(数え歳)
祈願者芳名					男・女
	大正	昭和	平成	年生れ	歳(数え歳)

九星	平成28年の星祭の生れ年 ※2月立春前にお生れの方は前年の九星となります										
八白土星	大正9	昭和4	昭和13	昭和22	昭和31	昭和40	昭和49	昭和58	平成4	平成13	平成22
七赤金星	大正10	昭和5	昭和14	昭和23	昭和32	昭和41	昭和50	昭和59	平成5	平成14	平成23
五黄土星	大正12	昭和7	昭和16	昭和25	昭和34	昭和43	昭和52	昭和61	平成7	平成16	平成25
二黒土星	大正15 昭和元	昭和10	昭和19	昭和28	昭和37	昭和46	昭和55	昭和64 平成元	平成10	平成19	平成28

※星祭祈禱は2月3日より承ります。郵送希望の方は、初穂料とは別に送料500円を添えて下さい。

「お正月奉納のお願い」  
 元日から十五日迄の間、皆様からご奉納頂いたお酒やお餅を社殿内にお供えさせて頂いております。夫々ご芳名を掲げさせて頂き、そのご芳名を記させて頂きますので、多くの方々のご奉賛をお待ち申し上げております。



《初穂料》  
 奉献酒：一口三千元  
 (恐縮ですが、お餅の新規お申込は現在受け付けておりませんので、何卒ご了承下さい)

- ◎平成二十八年行事予定
- 一月一日 歳旦祭
  - 一月三日 元始祭
  - 一月五日 釜鳴神事
  - 二月三日 節分祭・豆まき・星祭厄除祈禱始め
  - 二月六日 初午祭
  - 二月一日 紀元祭(建国記念の日)
  - 二月七日 祈年祭(としごいのまつり)
  - 二月十八日 二の午祭
  - 三月三日 桃の節句(雛祭り)
  - 三月二十日 春季皇霊祭(春分の日)
  - 四月二日 端午の節句(こどもの日)
  - 五月五日 釜鳴神事・末社五光稲荷神社大祭
  - 五月又は六月 参拝旅行行き先未定
  - 六月三十日 大祓式(夏越の大祓)
  - 七月 下旬 芝浦・港南等 各町会夏祭り
  - 八月四日〜八日 大祭(例祭・巡幸・神賑わい)
  - 九月九日 重陽の節句(菊の節句)
  - 九月二日 秋季皇霊祭(秋分の日)
  - 十月一日 神嘗祭奉祝祭
  - 十一月三日 明治祭(文化の日)
  - 十一月八日 輪祭(ふいごまつり)
  - 十一月十五日 七五三祝詞
  - 十一月二十三日 新嘗祭(勤労感謝の日)
  - 十二月二日 新嘗祭を感謝する祭り
  - 十二月三日 冬至祭・陽来復お守り授与始め
  - 十二月三十一日 天長祭(天皇御誕生日)
  - 十二月三十一日 大祓式・除夜祭

**お正月も「芝浦キャナルカフェ」登場します**

夏のお祭でおなじみ「芝浦キャナルカフェ」が、引き続きお正月三日に境内に出店します。温かい飲み物や軽食をご用意しますので、ご用意を致しますので、ご参拝の後には境内でゆっくりとお過ごし下さい。



**節分祭のご案内**

◆平成二十八年二月三日(水) 午後四時 祭儀開式

※豆まき行事は四時半過ぎから始まります  
◎福豆の他にも、お餅お菓子や景品券等も撒きますのでお楽しみに！

【年男女豆まき奉仕者募集】

豆まきをご奉仕される方を募集致します。年男女女に係わらず、どなたでもお申込頂けますので、ご家族やお仲間同士でご参加下さい。

・申込み：左記申込書にご記入頂き、FAX又は郵送でお送り下さい

・お切日：一月二十五日迄にお願い致します

・奉仕料：七千円

・記念品：厄除御神札・破魔矢・絵馬・福豆

福餅(一升・木製)・御神酒一升・干支置物

一陽米復お守・赤飯弁当 他

・集合：午後三時半までに神社社務所へお越し下さい

・服装：自由

※昇殿致しますので、不敬にならない服装で願います  
服の上に袴(かみしも)を着用して頂きます



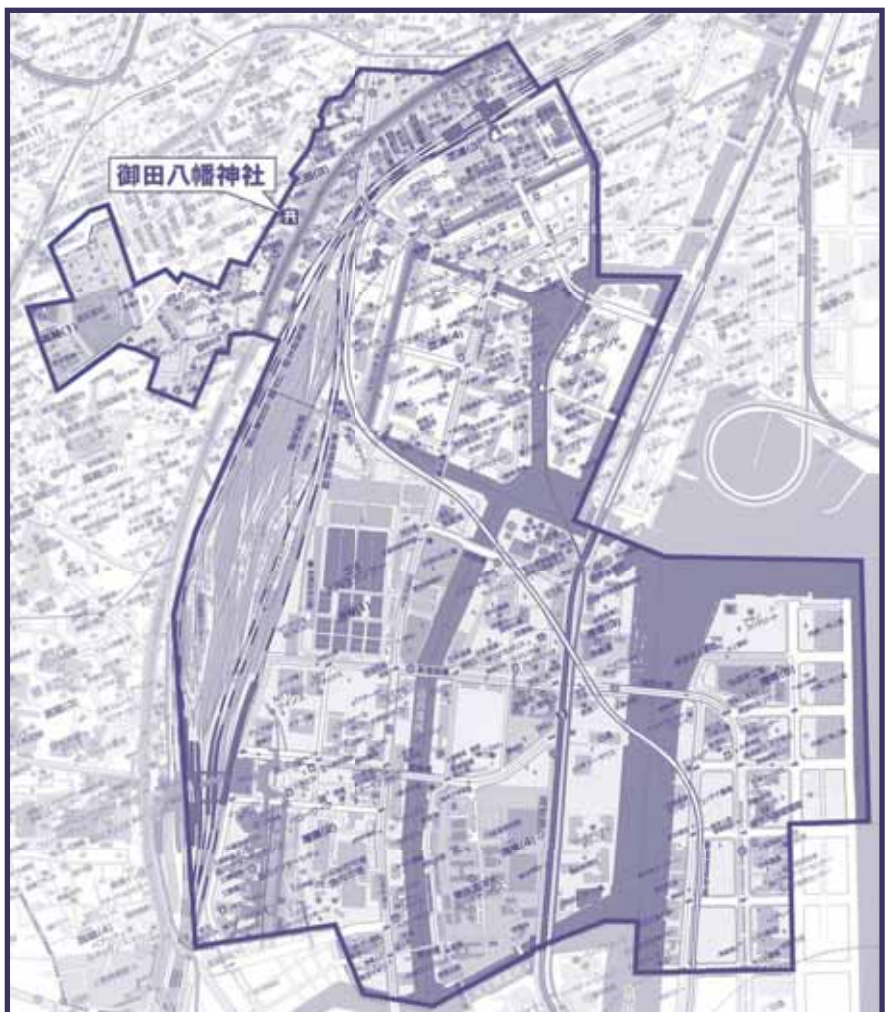
氏名(ふりかな)	住所	電話番号	性別	年齢

**釜鳴神事のご案内(一月十五日午前十一時)**

当社では釜鳴神事(かまなりしんじ)という特殊神事が、古来より連綿と歴代宮司に伝わっております。当社における由来は不明ですが、起源は岡山県吉備津神社と思われ、神事の発祥は鎌倉時代以前と考えられております。

どなたでも参列できますが、厳粛な祭儀ですので途中退席等はお断り致します。また、写真撮影・録音等はご遠慮頂いておりますのでご了承下さい。ご参列の方は、前日迄にお電話下さいます様お願い致します。

※ご参列の方は三千元程度の初穂料をお納め下さい。祭儀後には直会がありますので、併せてご参加下さい。祭儀所要は通常一時間程度です。五月十五日も同様に行いますので、こちらへもどうぞご参拝下さい。



**～伊豆大島土砂災害復興祈願**

**吉谷神社・岡田八幡神社参拝の旅～**



恒例の神社参拝旅行は、去る6月13～14日の日程で伊豆大島へ参りました。平成25年の台風26号による大雨で大規模な土砂災害が発生し、犠牲者が多数に上る甚大な被害を被りました。今回この災害復興への一助となるべく、祭典委員長の野口様のご親戚もおられる伊豆大島への参拝旅行となりました。

初日は竹芝ふ頭からジェット船で大島に参りました。島は緑が大変濃く、都心から2時間足らずでこのような大自然に触れることに驚きました。吉谷神社・岡田八幡神社ともに、境内はジャングルの様相の木々に囲まれ、屋なお暗い荘厳な雰囲気の中を参拝致しました。

昼食後、山肌の地すべり跡を遠くに望む献花台にて、犠牲者の御霊の安らかなることを祈りました。土砂の流れた痕跡はその被害の凄まじさを実感させられました。その後、三原山展望台で雄大な景色に感嘆し、宿では温泉と椿油のフォンデュの夕食を楽しみました。

2日目は火山博物館で三原火山を学び、椿ガーデンで太鼓の歓待を受けて色とりどりのあじさいを拝見しました。

その後ジェット船で熱海に移動して昼食を頂き、起雲閣を拝観し新幹線で帰京しました。



当社の氏子域は、上記地図の囲み線の内側です。三田・高輪の一部で境界が入り組んでいる地域がありますので、詳細は当社へご確認下さい。

◎お問合せ・祭儀のお申込みは社務所へ◎

TEL(3451)4687 FAX(3451)1928  
(お電話は午前9時～午後5時の間をお願い致します)

◆JR田町駅、地下鉄浅草線・三田線三田駅 各徒歩8分  
◆地下鉄浅草線泉岳寺駅徒歩5分

<http://www.mitahachiman.net/>